

No. H20大豊-2	平成20年度	四国山地砂防事務所	論文種類		
キーワード	重機・クレーン作業時等の安全対策				
論文名	平成20年度	南小川床固工工事における安全対策について	須工ときわ株式会社	現場代理人: 亀岡 恵介	

■ 工事概要

工事名	平成20年度 南小川床固工工事	概要	延長L=92m 砂防土工1式(掘削V=4,400m ³)
工事場所	高知県長岡郡大豊町落合地先		流路護岸工1式(大型ブロックA=667m ² ・張コンクリートA=1,075m ²)
工期	平成20年7月23日～平成21年3月31日		護床工・根固工1式 流路付属物設置工1式 仮設工1式

● 安全対策の目的・課題

本工事は、河川内での掘削作業及び流路護岸工(大型ブロック積工)でのクレーン作業が主体の工事であり、河川内で川幅が15m程度と狭く瀬替工をし、作業ヤードを確保しながら地形的な条件が日々変化する中での作業となる。

その中で、掘削作業時の重機災害、クレーン作業時のクレーン災害、吊り荷の落下による災害・事故防止が課題となる。

● 取り組み概要

1. 重機災害防止対策としては、前日の作業打合せ時に作業計画書を基に、作業内容、重機・立入禁止措置及び見張り人の配置を確認し、作業当日の朝礼・KY活動時に作業員全員への周知を徹底する。(写真1)・(写真2)

立入禁止柵には、注意を促す掲示物を2m程度の間隔で設置する。(写真3)

また、職員の巡回時には、重機の配置及び立入禁止措置が的確に実施されているか、確認し、異常のあった場合は直ちに作業を中止させ指導を行なうこととしている。

2. クレーン作業時の安全対策としては、重機災害対策と同様に、前日の作業打合せ及び作業当日の朝礼・KY活動での作業内容の確認、作業員全員への周知を徹底する。

始業前の点検では、クレーン・地盤・吊金具・ワイヤーロープ・玉掛ワイヤーの点検を徹底する。また、吊荷の誘導時等は無線を使用し的確な誘導を行なうようにしている。

U型側溝の吊金具には、側溝の内側で挟む吊金具を使用し、吊荷の接触時に吊荷の落下が無いようにしている。(写真4)

3. 近隣の他社工事と合同で、災害防止協議会を毎月1回以上開催し、各現場への安全パトロールを実施し第三者の目線で安全点検を行い、安全意識の向上を図る。



写真1



写真2



写真3



写真4